

卒業生の声(58回生/2021年度卒業)

聖ドミニコ学園の温かさ



岡野 紗弥
上智大学国際教養学部

聖ドミニコ学園を卒業した今、私が改めて感じることはドミニコ学園の温かさです。先生方は生徒と距離が近く、一人ひとりをきちんと見てくださっています。そして少人数ならではの手厚いご指導をしてくださいました。また、友達とは色々な面でぶつかりながらも一緒に成長することができ、一生の友達に出会うことができました。

高校1年の3学期から1年間の留学をした際には、突然の留学決意にも関わらず、先生方が迅速に対応してくださり、留学中もずっと応援してくれました。留学を経て大学受験に向けて小論文や英語のエッセイの添削、面接練習など、たくさんのサポートをしていただきました。そのおかげで第一志望の大学に合格することができました。先生方が最後まで私を信じて応援してくださったこと、勉強と部活動を共に頑張った友達の存在がいたことが、私の第一志望合格につながったと思っています。

勉強と部活動の両立



山本 茉夏
法政大学国際文化学部
国際文化学科

聖ドミニコ学園の良さは、少人数制であることです。学年に知らない子はおらず、みんなと仲良くなり、友達に囲まれて楽しい学園生活を送ることができました。また、先生方との距離も近く、とくに受験期にはたくさん質問したり、相談に乗ってもらったりしました。

私が高校生活で意識していたのは、勉強と部活動の両立です。テニス部に所属し、多くの試合に出ることによって得た忍耐力や集中力は、厳しい受験期を乗り越えることに大変役立ちました。また、テニス部の活動を通して礼儀やマナーなどを身につけるとともに、上位大会出場を目指して切磋琢磨し、仲間と協働することの大切さを学びました。勉強と部活動を両立させ、充実して過ごした学園生活は、きっと今後の人生の糧になると思います。

礼儀や思いやりの心を大切に



津田 美祈
中央大学文学部
フランス語文学文化専攻

私が聖ドミニコ学園での生活で得た学びは、大学生活において自分の基盤となっていることを強く実感しています。勉強だけではなく、礼儀や思いやりの心は日常や部活動を通して身につけ、今では自らの自信につながっています。

また勉強についても、フランス語を選択していた私にとって、少人数で行われた授業はとても有意義なものでした。先生方との距離の近さはもちろん、仲間と切磋琢磨して上を目指すことで、投げ出すことなく卒業後まで走り続けられました。

心の支えとなったクラスメイト、部活動でお世話になった先輩と後輩、どんな時も支援してくださった先生方と家族に心から感謝しています。

かけがえのない絆



松井亜香里
早稲田大学法学部

私は中高6年間ドミニコ学園で学び、沢山のものを得ることができました。進路に向けて考え始めた時も、先生方が親身に相談に乗ってくださったおかげで自分にとって最適な判断ができたと思います。

少人数制であるため、質問しやすく疑問をすぐ解決できる環境にあるのがとても良いところだと感じます。素晴らしい先生方や友人たちに恵まれたことで、受験生活を終えられたと言っても過言ではありません。

また行事の際には一致団結し、助け合い、友人たちと絆が生まれたことはかけがえのない思い出です。このように温かい雰囲気の中で学園生活を過ごせたことは、一生の財産になりました。

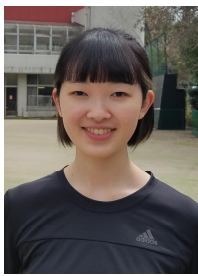


小森 絹子
国立奈良女子大学
文学部

温かい環境で学びを深める

家族のような温かい環境が、聖ドミニコ学園の大きな魅力です。優しい先生方や気心の知れた友人たちに囲まれて学園生活を送り、現代社会を生きる上で必要な他者理解の精神や自己肯定感を得ると同時に、かけがえのない大切な思い出を育むことができました。

授業は参考書の暗記を強制するものではなく、物事の本質や因果関係をわかりやすく丁寧に教えてくださいます。また、授業の雰囲気も良く、疑問が浮かんたらその場で気兼ねなく質問することができます。深い理解を伴う知識は記憶に定着しやすいため、試験科目の多い国立大学を受験する際に大きな助けになりました。



伊藤 理咲子
上智大学理工学部
物質生命理工学科

苦しいことも自主的に

私は6年間テニス部に所属しており、文武両道を目指し、日々勉学と部活動に励みました。仲間と切磋琢磨し合いながら苦しい練習にも自主的に取り組み、大会で結果を残したことが、自分の自信となり、受験での精神面に生きていたと思います。

また私は、幼い頃から生き物が好きであり、大学でも好きなことをより深く学びたいと考えたため、高校1年生の頃に理系の道に進むことを決めました。進路相談をはじめとして、受験期は様々な先生方に支えていただきました。これも、ドミニコが少人数であるがゆえ、先生と生徒の距離が近いことの恩恵であると思います。

理系選択者は少なかったけれど、ドミニコの先生方の温かいサポートのおかげもあり、無事に受験を乗り切ることができました。



小島 萌
聖マリアンナ医科大学
医学部

学園で学んだすべてのことを自信にして

私は聖ドミニコ学園で沢山の心温かい友達と出会うことができ、穏やかな毎日を過ごすことができました。中高ではテニス部に所属し、体力面だけでなく精神面も鍛えられたことなど、部活を通して多くのことを学びました。

私が医学部受験を決めたのは高校1年生の時でした。理系選択者は少なかったのですが、分からないところはすぐに先生方に質問し解決でき、同じ理系の仲間と教えあったりと、勉強面や受験に向けての気持ちを高め合うこともできました。部活との両立は大変だったのですが、部活を辞めることなく考えず、勉強時間を確保できるように過ごしました。

聖ドミニコ学園で学んだすべてのことが今の私の自信であり、その学びはこれから私が進む医学への道に繋がることと思います。



高橋 美結
星薬科大学薬学部

キリストの教えを礎にして

ドミニコ学園では、その特徴の一つでもある宗教の授業がありました。キリストの教えを学び知識を深めていくことにより、物事の受け止め方に豊かさが加わり、柔軟な思考が身に付くと共に心の成長へ繋がれたと感じています。

また、今後人生を選択する場面においては、考え方の要素が増え、より可能性を広げることができるだろうと期待を寄せています。

学園生活は、温かく穏やかな日々そのものでした。メリハリある充実した日常を当り前に過ごし、様々な行事では、一丸となって目的に取り組み経験を重ねて参りました。先生方や友達のおかげで自身の基となる土台が出来上がり、次の社会で力を発揮し生きていくための準備ができました。